



戸山幼稚園
2023年
5月29日発行

今月は、夏みたい暑い日や冬に戻ったかのように寒い日、驚くほどの寒暖差でしたね。この気候の変動に振り回され、体力を奪われたり風邪をひいたりする子も多く、心配が続いています。特にちゅうりっぷさんはGWが終わり、平常保育が始まったことで疲れが出ている頃ですね。そんな中やってくる6月。雨がずっと子どもたちのエネルギーはさらに発散しきれず、せっかく慣れてきた生活リズムも不安定さが出てくるでしょう。どうぞご家庭での体調管理を心がけ、朝から前向きに遊び出せるように登園時間厳守！！で過ごしていきましょうね。

それでは、この頃の子どもたちの様子をお伝えしましょう！



4～5月初旬頃の「不安と混乱期」を乗り越え、少しずつ安定し始めた姿が増えてきました！反対に、幼稚園という環境で張り切っていたこれまでの姿とは変わり、何だか頑張れない僕、私…なんて姿が見えてくるようになった子もいますね。どれも、新しい環境だったはずの担任や自分のクラスがより身近になり、裏も表も自分のありのままを出すようになっている姿でもあります。不安定な瞬間もありますが、心の安定が保てる時間が増えている子どもたちは、好奇心いっぱい目で見自分の周りを見つめ始め、色々な「物」や「人」との関わりを始めます。ちゅうりっぷさんは、まだまだ人より「物」との関わりが多くて良い時期です！（とはいえ、今年の年少さんは友だちへの興味も高く驚きです😲）さくら・ゆりさんは物よりも「人」との関わりの楽しさを十分に感じながら自己発揮し始めます。このような子どもたちの姿を捉え、戸山幼稚園ではこの時期を「自己発揮期」と表しています。子どもたちが自己発揮し始めるとトラブルが目立ちます！！そして、この後すぐに「自己主張期」もやってきます。（大きい子たちの中にはもう突入している子もいますが…）今まさに、ちゅうりっぷ・さくら・ゆり3クラスとも年齢に合った物や友だちとの関わりの中で、トラブルが発生していますので、それぞれ見ていきましょう。

ちゅうりっぷ

言葉がまだ未熟であることから、自分の思いを言語化することが難しい。また、まだまだ視野が狭く、相手の状況や思いには気付けないため、自分の気持ちだけぶつけ、思い通りにいかないことで起こってしまうトラブルが多く見られるようになっていきます。現状は、15名という人数であるゆえに順番を待つ時間も比較的短ければ、物を取り合う機会も少ない…といった印象ではありますが、なぜかいつも同じ物に魅力を感じたり、人が持っているものが欲しくなったりする不思議な気持ちってありますよね。そんな時、様々な物や場所を巡って、体いっぱい怒ったり、泣いたり、思いを表現するちゅうりっぷさんたちです。『思いが通らない経験』は、集団生活だからこそ味わえる貴重な体験ですね。これから少しずつ、言葉のやりとり（かして！まってるね！等）を覚えて、待つことを知り、待った後の喜びを感じます。どんな風にすれば上手く要求が伝わるのか、に気付いてほしいものです。この一連の流れが理解できると、お友達にも優しい気持ちで貸せるようになり、我慢も出来るようになるので、繰り返しこの経験を重ねて参ります！ぜひ一緒に辛抱強く見守ってください。

さくら

気の合う友だちとの交流を楽しむようになっている一方で、自己中心性の高いところが4歳

児の特徴です！自分の都合の良いように遊びや生活を進めたり、相手の気持ちはお構いなしに強い口調で思いをぶつけてしまったり、はたまた楽しく遊んでいたはずが、しつこく関わりすぎてケンカになってしまったり…。ようやく、トラブルらしいトラブルが出てきましたね！保護者の皆様にとってはマイナスな印象が多いように感じるかもしれませんが、保育者としてはこんな風に自己主張をはっきりするようになった成長を嬉しく思っています。自分の思いを出していい相手だ、と認識しながら集団の中で過ごしているのです。そして3歳児とは違って、じっくり振り返ると自分のことも相手のことも分かっているのですよね。わかっているのにやめられない、4歳児の葛藤がこの時期の自己主張の強さに影響しています。一日に様々なトラブルがいくつも起こりますが、子どもたちとそれぞれの思いを一緒に考えながら善悪の判断が少しずつ身に付き、行動できるように導いて参ります！昨年の経験を踏まえ、賢くなってきたさくらさんだからこそ、じっくり各々の思いに向き合いたいと思っております。

ゆり

共通のイメージを持ちながら気の合う友だちと遊んだり、ルールに則って遊ぶことが上手になりみんなて遊びを始めたり、年長としての成長が見られています。このクラスの子どもたちは個人差が大きく、それぞれの好きなことも幅広くあったため、昨年の今頃はひとりて遊ぶ子や大人を求める子もまだいましたよね。しかし、それぞれに思いを持って言葉でやりとりをしながら遊びを展開していることに成長を感じ、誇らしく思います。ここまで互いの個性を感じ合ってきた分、ちょっとしたことで挫けない集団に属している自覚をそれぞれが持っているようです！それでも些細なことで食い違う場面には出会うもので、相手の言葉や態度に傷ついたり、疎外感を感じたり…大人に近い情緒で落ち込む姿も増えています。お互いのパーソナリティを知り尽くした最終学年だからこそ、その関係性に悩むようになります。それでも、クラスの仲間とひとつの事を楽しもうとする思いが育ち、自信も付いてきていますよね！これから、とことん思いを出し合いながら子どもたちのペースで解決していけるように援助してまいります。



先日は保育参観へのご参加ありがとうございました。各クラス、いつもと違う空気に隠せぬドキドキやそわそわを、あらゆる姿で見せている子どもたちがいたと思います。もちろん個人差はありますが、行動範囲も交友関係も広がり、園の中で自分の思いをいろんな形で表現していましたね。どうぞこんな子どもたちの姿から垣間見られる”自己発揮”や“自己主張”や“トラブル”をマイナスと捉えず、解決する度に「賢く、逞しく、友だちとの関わり方を学んでいく時」、育っていくための「道のり」と考え、受け止めてあげてください。



異年齢での
「仲良しグループ」が始まります！



戸山幼稚園の特色のひとつとして“たてわり保育”を掲げており、異年齢児と日常生活を共に過ごすことで交流を深めていく、また、育ち合うという経験を実践いたしております。『見て学ぶ』『世話して学ぶ』『世話されて学ぶ』をスローガンに、子どもたちが日常生活の中でごく自然に関わりながら「異文化を吸収して、自分の文化に取り入れながらより豊かに育ち合ってほしい」という保育者の願いをもとに計画し実践いたしております。

ちゅうりっぷぐみのお母様の中には「やっと慣れてきたのに、どうしてこの時期に？」と思われる方もいらっしゃると思いますが、

徐々に安定し始めたこの時期が良い機会と考えております。

子どもたちの心は柔軟で色々なことを吸収してくれます。また、多少の変化が見られても園生活に馴染もうとする子どもたちの前向きな気持ちで乗り越えていきますし、子ども同士の温かい心の交流の中で、年長組になったときに「たてわりをやってよかった！」と思える成長が見られ、人との関わり方に広がりが出ますので、どうぞご安心ください♡